

外保連試案 2022

電子版ダウンロードサービス付

手術・処置・生体検査・麻酔・内視鏡 試案



★ 2022年診療報酬改定に向けた——『外保連試案』最新2022年版!!

★ 『外保連試案』とは、外保連加盟の112の外科系学会により調査・検証された、手術・処置・生体検査・麻酔・内視鏡の全術式のコスト・技術料データです。術式ごとに「技術難易度」「必要スタッフ数」「所要時間」を精査して「人件費」を算出し、さらに「使用材料・機器・室料等のコスト」を配賦して「総費用」（外保連試案「診療報酬額」）を算出しています。

★ 『外保連試案』は2010～2020年診療報酬改定における手術料改定の根拠として活用されました。また、DPC病院の要件として「外保連手術指数」（本書記載）が活用されています。——次の2022年4月改定はもちろん、今後の診療報酬改定においても活用され続けていくことは確実です。

★ 医療機関では、本試案のデータ活用により自院の手術・処置・生体検査・麻酔・内視鏡の精緻な原価管理・コスト検証が可能となるとともに、実際の診療報酬額との差額に基づく最適な経営管理も可能となります。

★ 医療機関の外科系診療科、経営管理部門、医療事務部門にとって、本試案は様々な活用が可能!! 電子版（本書購入者のみダウンロード可能）には「外保連試案」の全データが収録され、パソコン上で閲覧ができます!!

- 外保連（一般社団法人外科系学会社会保険委員会連合）編
- A4判/約560頁/2色刷
- 電子版ダウンロードサービス付（WindowsとMacの標準的なOSで閲覧可能）
- 価格：10,000円（+税）



試案

- ※ DPC病院の要件「外保連手術指数」, 「手術基幹コード (STEM7)」も掲載
- ※ 点数表の区分番号 (K・J・D・E・Lコード等) 索引も収録

保険請求できない医療材料・消耗品(注射器等)	処置室・特殊機器	①人件費計(円)	費用総計(円)①+②+③	点数表区分番号	診療報酬(円)(加算除く)		
②医療材料・左欄以外 合計(保険請求できないもの) (円)	③保険請求できない材料 合計(円)	基本機器以外 の特殊機器 処置室 利用料(円)					
102	102	A	30	245	378	G000	180
147	147	C	491	1,601	2,239	G018	800
385	2,385	C	1,080	4,755	8,220	未収載	
825	2,025	D	2,542	15,743	20,310	G008-2	900
705	5,305	C	2,208	12,330	19,843	G009-1	3,900
705	5,305	C	1,472	9,835	15,812	G009-2	2,200
705	1,905	B	782	9,035	11,722	G009-3	1,400
607	607	B	158	687	1,453	G012	250
307	307	C	548	1,979	2,834	G000	180
307	407	C	491	1,966	1,966	G014	600
607	607	C	274	534	1,415	G015	350
607	2,227	C	1,096	1,530	4,853	J087	1,800
607	607	C	1,096	3,200	4,903	K278	19,000
284	284	B	130	445	859	G000	180
340	610	B	414	1,466	2,490	G082	1,650
45	1,445	B	391	1,466	3,302	G003	1,650
65	65	A	58	1,004	1,128	G001	300
20	300	A	152	1,466	1,918	G004-3	470
20	300	A	152	1,002	1,454	G004-2	950
20	300	A	152	1,004	1,456	G004-2	950
255	255	A	152	1,466	1,873	G005	1,400
45	1,445	B	428	1,466	3,339	G006	1,250
780	780	D	2,542	7,315	10,637	G003-3	1,650
2,810	16,980	C	2,944	34,650	54,574	G002-1	1,550
335	472	B	391	2,971	3,834	G002-2	1,550
360	360	B	391	1,466	2,217	G000	180
65	65	B	261	917	1,243	G000	180
875	2,075	D	1,271	2,971	6,317	G008-1	800

★術式ごとに「技術難易度 (A～E)」「必要スタッフ数」「所要時間」を精査して「人件費」を算出。2年ごとの試案改訂にあたっては、各学会と外保連委員による徹底した検証が行われ、精緻化が図られています。

★材料・機器・室料などのコストもすべて厳密に配賦・算出し、人件費と合わせて「費用総計」を出し、現行の診療報酬額と比較。——診療報酬と実際のコストがどの程度乖離しているかが一目瞭然となります。

★実態調査に基づいて、術式ごとのすべての使用材料を網羅。「特殊縫合糸」など、償還できない材料の費用(定価ベース)が診療報酬額の25～50%も占めている手術が多い実態が明らかになっています。

★本書購入者がダウンロードできる電子版では、詳細な医療材料のデータが検索できます。

【ご注文方法】①HP・ハガキ・FAX・電話等でご注文下さい。②振込用紙同封で書籍をお送りします(料金後払い)。③または書店にてご注文下さい。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-6 十歩ビル
tel.03-3512-0251 fax.03-3512-0250
ホームページ <https://www.igakutushin.co.jp>

